

◆日本共産党は、反戦平和・国民が主人公つらぬいて101年。戦争させない、暮らしに希望を

休日当番病・医院

12月17日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苦小牧日翔病院 矢代町 72-7000
- ◆歯科 ときわ歯科クリニック ときわ町 68-1182

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日前着が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



12月21日(木)

大和田貴史弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苦小牧市議団ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

12月定例市議会

原議員 ラピダスの住民説明会求める

環境への影響、化学物質の排出が不安



周辺地域への影響に対する認識をたてました。

環境衛生部長は、「送水管は地下に埋設すると聞いている。送水ルートや計画の詳細については明らかに

なっていないが、環境に及ぼす影響について注視していきたい」と答えました。

原議員は、半導体製造工程で使われる化学物質について、「PFASなど含有するものは全量回収するとして

いるが、少量であっても川が汚染されれば影響は大きい。企業側に使用する物質の詳細、排水の詳細を明らかにさせるべきではないのか」と迫りました。産業経済部長は、

「PFASは今使われていないが現状把握はされていない。詳細について問い合わせしたい」と答えました。

◆住民説明会
なぜ苦小牧は後回しなのか
原議員は、住民説明会の開催を求め、「旭川や北見で開催され、銅路でも予定されているが、プロジェクトのPRが中心だ。工場稼働による自然や環境への影響など踏み込んだ中身ある説明がされるべきだ」と指摘。「苦小牧はこ

れからで、地元を後回しにされており、位置づけが重く見てももらえていない感じがする」とたてました。

産業経済部長は、「市単独での開催は決めている。道は先月から各地で始めており、苦小牧は来年1月頃を予定している。苦小牧を軽く見ているわけではない。市民の関心は高いと認識しており、懸念について知ってほしいと

答えました。

道に伝えたい」と答弁しました。

戦争でなく今こそ9条の時代

憲法生かす会 高崎弁護士が講演

平和ではなく戦争の時代



と題した講演に、補助椅子を出す108人が参加しました。

開会にあたり、元道議の沖田龍児共同代表は、「政府の憲法を踏みかじる安保法制に抗して本会が結成さ

れ、市民集会、デモ、スタンディング宣伝の活動を続けてきました。いよいよ岸田政権が行き詰まるなかで、野党が統一して立ち上がり、政治を変えなければなりません」と呼びかけました。

モ、スタンディング宣伝の活動を続けてきました。いよいよ岸田政権が行き詰まるなかで、野党が統一して立ち上がり、政治を変えなければなりません」と呼びかけました。

と題した講演に、補助椅子を出す108人が参加しました。

マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止強行抗議
日本共産党



地場産業に苦難山積 支援を

畠山・立野氏

日高の漁協など訪問懇談

日本共産党の畠山和也元衆院議員と立野広志・道9区国政対策委員長は8日、日高管内の農家や農協・漁協を訪ね、懇談しました。

ひだか漁業協同組合(新ひだか町)では、中村敬専事務理事と濱田肇参事総務指導部長らが応対。赤潮・コロナ・海水温の上昇・汚染水(アルプス処理水)の海洋放出・物価高など、苦難の一端が語られました。

赤潮被害について、日本共産党の紙智子参院議員(農林水産委員)らの働きかけで支援が実現し、中村専務は「なんとかな、つないでこられた」とのべる一方、水産資源が回復していない現状を報告しました。



ひだか漁協と懇談する立野・畠山さん(8日)

福島第1原発事故による汚染水の海洋放出により、ナマコは100%、カレイは6割、秋サケの部位(化粧品向けなど)の多くが中国への輸出のため、甚大な影響が出ていると言います。また、東電から原発事故にともなう加工業者への補償もなく、廃業に至った事例があると不信感を示し、「世界共通の基準で問題ないという科学的根拠を示してほしい」と語りました。

畠山さんは、価格転嫁されず、生産者にしわ寄せがいく第1次産業の現状について、大本から政策を転換する必要があるとし、「緊急的な課題についても紙議員ら国会とも連携して、第1次産業を支えていきたい」と表明しました。

濱田参事は、日本共産党の「経済再生プラン」について、漁業者にとっても「成長のいい30年だった」と打ち明け、「追いつかない実態はあるものの、最賃1500円など、

歩を進めるべきだ」と理解を示しました。

新冠町はピーマン、新ひだか町はミニトマトや花卉(かき)の生産が盛んですが、花卉農家は「油類にかかる税金が多すぎる」と燃油・資材高騰に悲鳴。軽種馬産地にちなんだ「万馬券」というブランド米があるものの、米作農家は

若者の就労どうサポートする

23日 教育の会学習イベント 小川氏が講演

子どもたちに豊かな教育の機会が保障されることを願う市民有志で活動する「子どもたちの幸せを願う教育の会」の学習イベントが今月23日に開催されます。32回目です。

今回は、「若者の学校後をどう支援していくか」をテーマに、若者サポートステーションの小川あつみさんを迎え、若者の就労支援の取り組みなどを話します。

サポートステーションは、厚労省の委託事業を実施する機関で、「就労」「自立」の一步を踏み出す若者をサポートしています。不登校をはじめとして、さまざまな困難を抱え、高校を卒業または中退した人たちを含め、卒業後にどんな支援が受けられるのか、これまでの取り組みを通じて可能性を探り、私たちに何ができるのか考えます。

当日はどなたでも自由に参加を進めるべきだ」と理解を示しました。

は苦境続きで先が見通せず、その軽種馬は投資目的かと思われるほどバブル化していて、過剰生産への心配もあると言います。

日高地方は雪が少ないゆえ、施設園芸からの新規就農者は少なくなく、新規就農者に対する支援策の充実も語られました。

加えて、お子さん連れも歓迎しています。

☆ 12月23日(土) 13時30分

アイビープラザ 学習室3
会費 200円(会場費)
問合せ 横山さん
電話080・3268・2856

ほんの紹介

●健康保険証廃止にストップ

を 黒田充(日本機関紙出版センター)1540円(税込)
世論に抗してまで健康保険証廃止をゴリ押しで進める背景に何があるのか。「儲けのタネ」にされる医療情報の利活用を告発。



裏金疑惑
徹底解明に力尽くす

国会かけある記 いわぶち友です

臨時国会最終盤(13日閉会)、最大の問題となつていのが自民党の派閥の政治資金パーティをめぐるとの裏金疑惑です。キックバックを受け取っていたにもかかわらず、それが政治資金収支報告書に記載されていない。

この問題は「しんぶん赤旗」日曜版の報道をきっかけに、次々実態が明らかになってきました。安倍派の松野官房長官や大臣、自民党幹部、各派閥の議員の疑惑も取り沙汰されています。一部の派閥や議員の問題ではなく、自民党全体の問題です。

COP28が行われるも、経済産業委員会でも再生可能エネルギーの出力抑制について質問しました。

再エネ導入が広がるもとで、再エネの電気を捨てる出力抑制が急増しています。抑制しても日本では補償はなく、融資の返済にも困るなど再エネ事業者が苦しんでいます。一方で、原発は一度も抑制されていません。抑制する電源の順番で原発が最後になっているからです。こうしたルールは変えるべきです。

岩淵友(いわぶち・とも) 日本共産党参議院議員



汚染水飛散事故の責任追及(6日)